

土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典



開催概要 (平成22年度)

歳時名：土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典
 会場：秋田市ポートタワー・セリオン
 (JR土崎駅 徒歩10分)
 日時：平成22年8月14日(土) ※例年8月14日開催
 参列者数：約270人
 連絡先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688

式次第 (平成22年度)

第一部 土崎空襲65年犠牲者追悼平和祈念式典

1. 開式のことば
2. 黙 禱
3. 主催者のあいさつ … 土崎港被爆市民会議会長
4. 来賓あいさつ … 秋田市長、秋田市議会議員、秋田県知事、秋田県議会議長
5. メッセージ紹介
6. 献 花
7. 閉 式

第二部 「21世紀子どもたちから平和のメッセージ」発表会

1. メッセージ発表 … 市内小学生、中学生
2. 紙 芝 居 … 「築山からの誓い」秋田市立土崎南小学校児童
3. 講評・記念品贈呈 … 「平和のメッセージを贈る会」代表者

メッセージ (平成22年度)

本日、御遺族をはじめ関係者が一堂に会し、土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典が執り行われるにあたり、ここ土崎地区において、先の大戦最後の空襲を受け、犠牲になられた多くの御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

終戦から65年の歳月が過ぎ、戦争を知らない世代が国民の多数を占める中、戦争が遠い過去の出来事のように思われがちです。

しかし、世界では、今なお、戦争やテロが絶えることなく、国際情勢も依然として厳しい状況にあります。

本日の日本が享受している平和と豊かさは多くの人々の尊い犠牲の上に築かれていることを忘れてはなりません。

戦後、本県は、県民の英知とたゆみない努力によって幾多の困難を乗り越え、発展してまいりました。

平和で豊かな今こそ、先の大戦から学び取った多くの教訓を深く心に刻み、戦争のもたらす悲惨さと平和の大切さを、次代を担う若い世代に語り継ぐとともに、世界の恒久平和を確立するため、全力を尽くしてまいりますことをここに誓います。

平成22年8月14日
 秋田県知事 佐竹 敬久

秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典



※写真提供 秋田市

開催概要（平成22年度）

歳時名：秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典 ※一般戦災死没者を含む
 会場：秋田市文化会館
 （JR秋田駅より秋田中央交通 バス停「文化会館八橋球場前」下車 徒歩1分）
 日時：平成22年9月3日（金） ※例年9月第1金曜日開催
 参列者数：260人
 連絡先：秋田市 福祉保健部 福祉総務課 地域福祉推進室 018-866-2090

式次第（平成22年度）

1. 開 式
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…秋田市長
5. 追悼のことば…秋田県知事、秋田市議会議長、戦没者遺族代表・秋田市遺族会会長
6. 献花…秋田市長、秋田県知事、秋田市議会議長、秋田市遺族会会長、土崎港被爆市民会議会長、衆議院議員、参議院議員、秋田県議会議員、秋田市議会議員、秋田県遺族連合会会長、秋田市傷痍軍人会会長、秋田市社会福祉協議会会長、秋田市母子寡婦福祉連合会会長
7. 「平和へのメッセージ」朗読
8. 閉 式

式 辞（平成22年度）

本日、戦没者ならびに被災者のご遺族の皆様をはじめ、ご来賓の皆様のご参列をたまわり、第1回秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典を挙げるにあたり、秋田市を代表いたしまして式辞を申し上げます。

先の大戦では、故郷を離れ、凍てつく極寒の荒野や灼熱の南方地域で、祖国の平和と発展、そして何よりも家族の安泰を思いながらも、熾烈な戦闘で傷つき、あるいは戦後に至るまで異境の地に残され、飢えや病に苦しみながら帰らぬ人となるなど、多くの尊い命が失われました。戦禍に散った秋田市関係戦没者、4千人余の皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、時を経ても、なお癒されることのないご遺族の皆様の深い悲しみと追慕の念に思いをいたすとき、万感胸に迫るものがあります。かけがえのない肉親を亡くされ、長きにわたりその悲しみに耐えながらも、戦没者の志を引き継いで家族を支え、今日まで歩んでこられましたご遺族の皆様へ、深甚なる敬意を表するものであります。

さて、戦後、わが国は、戦争によりもたらされた苦しみと悲しみへの深い反省から、敢然として平和の道を歩み、国家再建に邁進してまいりました。秋田市におきましても、市民の皆様の不屈の努力により、水と緑豊かな美しい32万人の中核市へと発展いたしました。

誰もが平和を享受できる社会となった反面、戦争当時の記憶の風化が懸念され、私たちが普段何気なく過ごしているこの平和と繁栄は、戦争により心ならずも命を落とされた、多くの皆様の尊い犠牲を礎にしていることを、決して忘れてはなりません。

戦争体験を語る事ができる世代のみならず、次の世代の高齢化も進んでいる今、戦争の悲惨さを改めて心に刻み、この記憶を風化させることなく、次の世代に正しく引き継いでいかなければなりません。

また、終戦前夜の昭和20年8月14日、土崎地区が米軍機による激しい爆撃を受けました。日本で最後となったこの空襲により、250名以上の尊い命が奪われました。

この痛ましい出来事が、本市で起こった現実であることを深く心に刻むとともに、恒久平和の大切さを後世にしっかりと伝えていくことが、私たちに課せられた責務であると考えております。

今年、終戦から65年という節目を機に、本市出身の戦没者および空襲により被災され犠牲となられたすべての市民の皆様を追悼するとともに、恒久平和を祈念するため、本日初めて本市主催による秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典を執り行うことにいたしました。

また、現代の社会と戦争について考える機会として、原爆資料展を引き続き開催するとともに、新たに、被爆や戦争、平和をテーマに、子どもたちへの絵本の読み聞かせを行う「平和の朗読会」を秋田市出身の女優、浅利香津代さんを迎え、市内の小学校で実施しております。

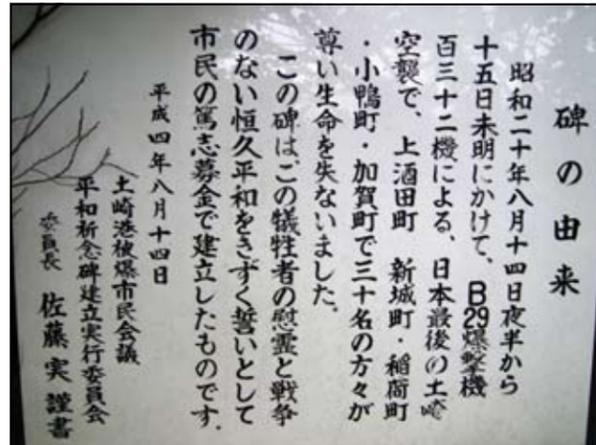
さらに、次代を担う子どもたちにも平和な社会について考える機会として、「平和へのメッセージ」を、本日の式典の中で後ほど朗読していただく予定となっております。

このように、本市といたしましては、恒久平和の実現に向け、多様な取り組みを実施していくとともに、子どもから高齢者のかたまで、すべての世代の市民の皆様が安心して暮らすことができる秋田を目指し、全力を尽くすことをここに改めてお誓い申し上げます。

結びに、無念の最期を遂げた戦没者の皆様ならびに被災され犠牲となられた市民の皆様がやすらかなることを祈念申し上げ、式辞といたします。

平成22年9月3日 秋田市長 穂積 志

平和祈念碑（祈恒久平和）



基本情報

所 在：雄物岸街区公園
 住 所：秋田県秋田市土崎港西2-4
 (JR土崎駅 徒歩15分)
 連絡先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688
 建 立 者：土崎港被爆市民会議 平和祈念碑建立実行委員会
 建 立 年：平成4年8月14日

碑 文

祈恒久平和

秋田市長

石川錬治郎

説 明 文

碑の由来

昭和二十年八月十四日夜半から十五日未明にかけて、B29爆撃機百三十二機による、日本最後の土崎空襲で、上酒田町 新城町・稲荷町・小鴨町・加賀町で三十名の方々が尊い生命を失いました。

この碑は、この犠牲者の慰霊と戦争のない恒久平和をきずく誓いとして市民の篤志募金で建立したものです。

平成四年八月十四日
 土崎港被爆市民会議
 平和祈念碑建立実行委員会
 委員長 佐藤実 謹書

平和を祈る乙女の像



基本情報

所 在：秋田市ポートタワー・セリオン付近
 住 所：秋田県秋田市土崎港西1
 (JR土崎駅 徒歩20分)
 連 絡 先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688
 建 立 者：土崎港被爆市民会議
 建 立 年：昭和54年8月15日

碑 文

【表】

慰霊

【裏】

日本が開国以来の大敗戦を喫した昭和二十年八月十五日の前夜半、わが郷土は「日本石油」を中心に米
 国空軍の猛爆撃を受け、市民、軍人およそ一八四名の犠
 牲者を出すに至った。

その後昭和五十年「被爆市民会議」の発足成り爾来
 各種の慰霊行事を行なって来たが、漸くここに官民一
 致の協力を得て、其の霊を永遠に慰むべく慰霊塔
 の建立を見るに至った。

願わくば諸霊とこしないに安らかに、以て世界の恒久
 平和と郷土の繁栄を守り給わらんことを。

昭和五十四年八月十五日
 土崎港被爆市民会議会長 藤田溪山 謹誌

慰霊碑つばさ



基本情報

所 在：古川町街区公園（土崎公民館前）
 住 所：秋田県秋田市土崎港西4-3
 （JR土崎駅 徒歩15分）
 連 絡 先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688
 建 立 者：土崎港被爆市民会議 平和祈念碑建立実行委員会
 建 立 年：平成3年8月14日

碑 文

祈恒久平和

この周辺は、一九四五年八月十四日
 夜半から、終戦の十五日未明にかけて
 米軍機B29による日本最後の土崎空襲
 で犠牲になった百数十人の遺体を鉄道
 線路上に置かれた痛恨の地である。

ここに、慰霊と恒久平和の誓いを捧
 げる。

一九九一年八月十四日

建立

土崎港被爆市民会議
 平和祈念碑建立実行委員会
 文 委員長佐藤実
 吉田金也謹書

高射砲台座の上に建てられた慰霊碑



基本情報

所 在 地：相染町の住宅街
 所 在 地：秋田県秋田市土崎港相染町字浜ナシ 2-1 地内
 (JR土崎駅 徒歩40分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：秋田市土崎港相染字緑町々内会一同
 建 立 年：昭和40年8月14日

碑 文

【表】

慰霊塔

秋田県知事小畑勇二郎書

【裏】

この塔を建てた由来

この町内は太平洋戦争の末期の昭和二十年八月十四日から同十五日にかけて連合軍の大型爆撃機延べ二百五十機により約二千発の爆弾を投下され猛爆を受けたのであるがその際当地を警備中の独立高射砲隊（高射砲一箇中隊高射機関銃一箇小隊）および同隊を救援するため駆けつけた郷土部隊は最後まで勇敢に応戦し隊員の大部分が戦死されまた同時に一般市民も多数被爆し尊い命の失われた秋田県でただ一つの戦場であったのである よってこの人々の霊を慰めあわせてこの戦跡を永久に記念し再び戦争の悲劇をくりかえさぬことを誓うため当町内一同の総意によってここにこの塔を建立したのである

昭和四十年八月十四日

秋田市土崎港相染字緑町々内会一同

平和祈念碑(土崎空襲 犠牲者に捧げる 慰霊平和)



基本情報

所 在：秋田サンライズゴルフセンター脇
 住 所：秋田県秋田市土崎港相染町字浜ナシ山7-4付近
 (JR土崎駅 徒歩30分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：祈念碑建立実行委員
 建 立 年：平成7年8月14日

碑 文

土崎空襲 犠牲者に捧げる

慰霊平和

祈念碑建立実行委員長 佐藤 実 謹書

平成七年八月十四日

